

## 会社概要 / 株式の情報

### 会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	大興電子通信株式会社
証券コード	8023(東証第二部)
設立	1953年12月1日
所在地	東京都新宿区揚場町2番1号
電話番号	03(3266)8111(代表)
資本金	19億6,906万8,326円
従業員数	728名

### 企業集団の状況 ●連結子会社

●大興テクノサービス(株)	東京都新宿区揚場町2番1号(2020年10月移転)
●大興ビジネス(株)	東京都新宿区揚場町2番1号(2020年7月移転)
●(株)AppGuard Marketing	東京都新宿区揚場町2番1号
●(株)DSR	東京都千代田区平河町1丁目2番10号
●(株)アイデス	大阪府大阪市中央区備後町1丁目4番9号
●大協電子通信(株)	大阪府大阪市北区大淀中2丁目8番20号
DAIKO GLOBAL MARKETING CO.,LTD.	No. 191 Silom Complex Building, 16th Fl., Unit A, Silom Road, Silom, Bangrak, Bangkok 10500 THAILAND

### 株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	47,900,000株
発行済株式の総数	13,868,408株
株主数	3,928名

## 株主メモ

事業年度	4月1日~翌年3月31日
決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 大興電子通信株式会社

# DAIKO

## 第68期 報告書

2020.4.1 ▶ 2021.3.31

### IRサイトのご案内

当社のホームページでは、IR情報やプレスリリースなどの最新の情報に加え、事業概要、サービスをより深くご理解いただくためのコンテンツをご覧いただけます。

大興電子通信 IR 検索 <https://www.daikodenshi.jp/ir/>



## 大興電子通信株式会社

〒162-8565 東京都新宿区揚場町2番1号 軽子坂MNビル  
TEL 03-3266-8111(代表)

<https://www.daikodenshi.jp/>



証券コード：8023

# DAiKOが選ばれる理由 Vol.2

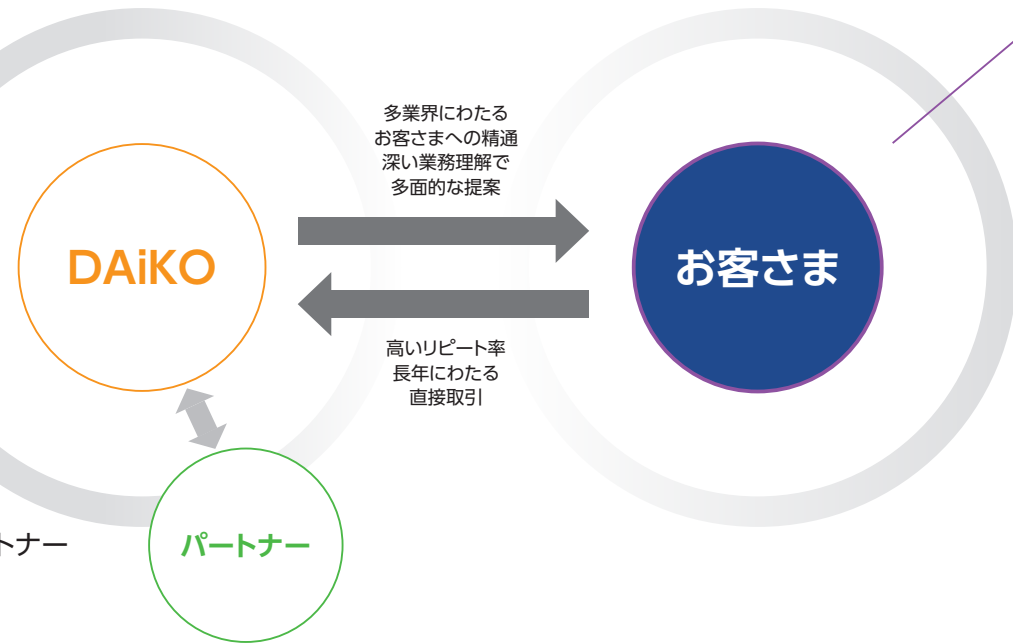
当社は「お客さま第一」と「高品質なサービス」を基本に、当社にとって最大の財産であるお客さまのビジネス拡大と課題解決に寄与するためICTサービス提供を継続し、あらゆる業種のお客さまが抱える課題を解決します。

お客さまの業務に精通することで、お客さまのビジネスに直決する「コトづくり」としてのソリューションを提供いたします。

## DAiKOの特長

お客さま第一主義を支える体制  
 設立 **1953年**  
 社員\*(連結) **1,223名**  
 拠点\* **19カ所**  
\* 2021年3月31日現在

約**2,800**社のパートナー  
**7**つの関係会社が支援



DAiKOのソリューションの詳細は、ホームページをご覧ください。

大興電子通信 ソリューション 検索

<https://www.daikodenshi.jp/solution/>

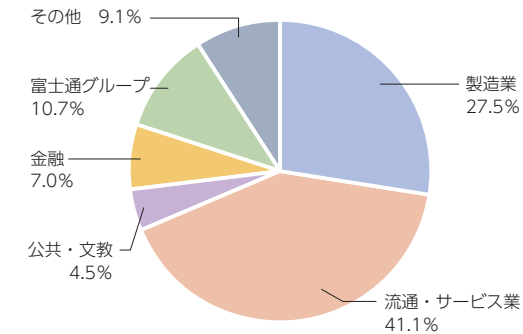


## 事業基盤

お客さま企業数は、**2万社以上**。長年にわたる**直接取引**を背景に、強固な事業基盤を構築

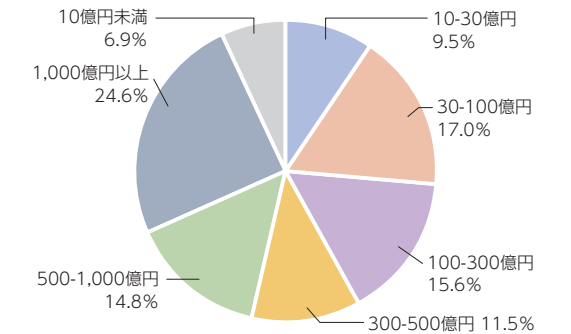
### 業種別 売上高構成比

- 製造業、通流・サービス業が中心
- 約8割が民間企業



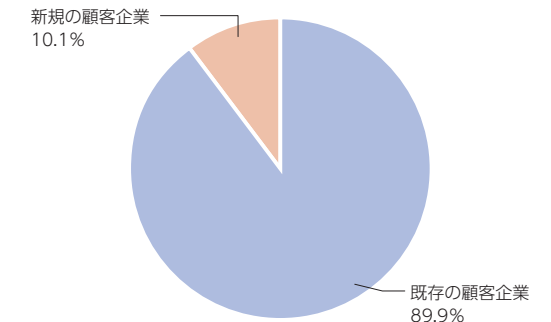
### 年商規模別 売上高構成比

- 約5割が中堅企業



### 新規・既存別 売上高構成比

- 既存のお客さまからのリピート受注が9割超 = 既存顧客に注力



\*データはすべて2021年3月期



大興電子通信株式会社  
代表取締役社長  
**松山 晃一郎**

お客さまに寄り添い、ICTを活用した新たな顧客体験価値を提供し続けることで、お客さまに選ばれる企業をめざします

Q

第68期の業績について

A

まず、当期純損失の計上について株主の皆さまに深くお詫びいたします。

当事業年度は、前期に発生した特需（Windows7サポート終了と消費税改正に伴う入替需要）がなくなったことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響で新規ビジネスが停滞したことで減収となりましたが、同じく感染症の影響で販管費が減少したことにより、営業利益および経常利益に関しては計画を上回る結果となりました。

一方、第4四半期に収益性の高いビジネスへのリソースシフトを目的として、公共ビジネスから一部撤退したことにより特別損失が発生し、結果的に当期純損失を計上することとなりましたが、これは今後の企業価値拡大に向けた決定であると考えております。

株主の皆さまには、なにとぞご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

Q

中期経営構想「D'sWAY」の進捗について

A

当社グループでは、2017年3月期から6年間に渡る中期経営構想「D'sWAY」に取り組んでまいりましたが、これまでの経過期間における実績は、特需があった前期を除き、売上高、営業利益とも每期着実に増加しております。また、安全性の目標とした自己資本比率30%についても、計画より2年早い2020年3月期以降30%以上を維持しております。個々の施策に関しては、ストックビジネス増強やセキュリティビジネスの拡販に取り組むほか、コロナ禍でも安心安全に働ける環境の提供を目指し、ミライアプリ株式会社とのIoW（Internet of Workers）共同事業の一環である「IoWクラウドサービス 感染対策支援パック」（6ページご参照）の販売を開始いたしました。

一方、新型コロナウイルス感染症の拡大により新規ビジネスの拡大が停滞するなど、中期計画全体の達成に影響が生じたことから、これまで目指しておりました最終年度である2022年3月期の売上目標400億円、営業利益目標15億円を、売上高380億円、営業利益13億円とそれぞれ修正いたしました。

「D'sWAY」は今期が総仕上げの年であり、この目標達成に向け全力で取り組むとともに、お客さまのビジネス拡大と課題解決のため、ICTを活用した新しい顧客体験価値を提供し続けることで、お客さまに選ばれる企業を目指します。

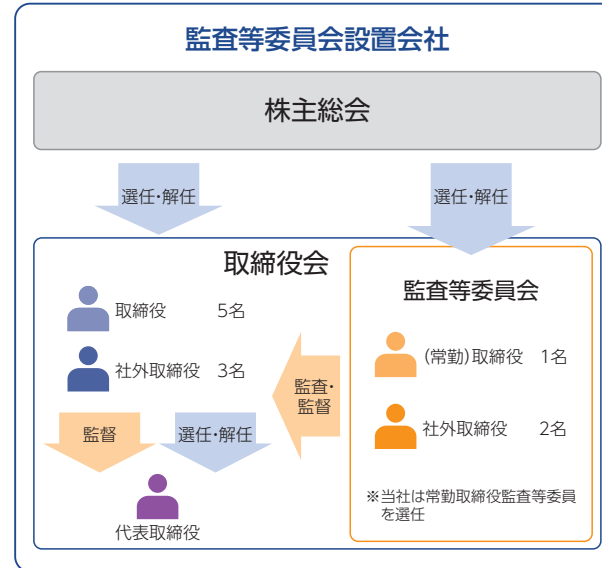
Q

監査等委員会設置会社への移行について

A

第一の目的はガバナンス強化です。当社は、これまでも監査役会設置会社としてコーポレート・ガバナンスならびに内部統制システムの充実に取り組んできましたが、今回の機関変更で経営の監督と業務執行をより明確に分離し、取締役の職務執行を監督する監査等委員が取締役会での議決権を保有することで、一層のガバナンス向上を目指します。なお、監査等委員会の運営は、内部統制システムを中心に内部監査部門および会計監査人とも緊密な連携を図ることで、実効性を高めてまいります。

第二の目的は経営のスピードアップです。その背景には、ICT業界での加速度的な技術革新と環境変化がありますが、迅速な意思決定システムなしにこれらの変化へ適応することはできません。そこで今回の機関変更とともに、重要な業務執行の決定を取締役に委任し、社内執行部門における迅速な意思決定システムを構築することで、短期的な業績はもちろん中長期的な企業価値を向上してまいります。

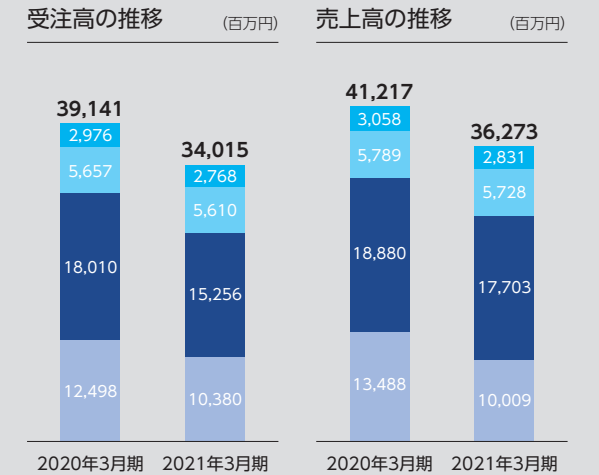


連結業績の概要  
2021年3月期

受注高	340億15百万円 (前年同期比 86.9%)
売上高	362億73百万円 (前年同期比 88.0%)
営業利益	11億26百万円 (前年同期比 54.2%)

事業部門別の状況

■ 情報通信機器 ■ ソフトウェアサービス  
■ 保守サービス ■ ネットワーク工事



決算情報の詳細は、  
ホームページをご覧ください。

大興電子通信 決算情報 検索

<https://www.daikodenshi.jp/ir/>



# 中期経営構想『D's WAY』と今後の連結業績見通し

## 中期経営構想『D's WAY』

### D's WAY 3つの使命

- ① 利益を出し社会に貢献する
- ② 社員が安心して働ける
- ③ お客さまに満足していただける

### ●D's WAYロードマップ

創立70周年に向け、中期経営構想を推進

1st

- ・SIMQ with P 活動における目標の完遂 (Stock, Innovation, Management, Quality, Partner)
- ・従業員満足度向上
- ・経営指標の見える化とコクピット経営
- ・業務システムの負軽減とシステムの最適化

2nd

- ・特化ビジネス、新規ビジネスでの収益拡大
- ・新規顧客、顧客内新規の受注拡大
- ・ストック比率の向上
- ・人員体制の強化

3rd

「しあわせを追求する ICTサービス企業」

2022

創立  
70  
周年

Base 土台の継続的強化

お客さま第一／高品質サービスの提供／従業員満足／財務基盤強化／コンプライアンス+5S×5S

2016 - 2017

2018 - 2019

2020 - 2021

(注) [SIMQ with P]…会社の基盤となる利益の安定化を実現するため、組織横断で活動するタスクフォース。

	2019年3月期実績		2020年3月期実績		2021年3月期		2022年3月期予想	
	2019年3月期実績	2020年3月期実績	2021年3月期	2022年3月期予想	2021年3月期	2022年3月期予想	2021年3月期	2022年3月期予想
売上高	35,474	41,217	36,273	38,000	36,273	38,000	36,273	38,000
営業利益	1,002	2,079	1,126	1,300	1,126	1,300	1,126	1,300
営業利益率	2.8%	5.0%	3.1%	3.4%	3.1%	3.4%	3.1%	3.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,631	1,956	△452	880	△452	880	△452	880
ROE*	39.8%	24.0%	△5.6%	9.9%	△5.6%	9.9%	△5.6%	9.9%
自己資本比率	25.8%	33.0%	34.2%	35.5%	34.2%	35.5%	34.2%	35.5%

\* 期末日の純資産の額を基準としております。

## 特集

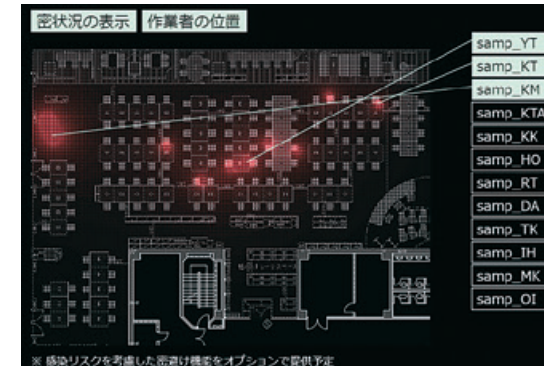
コロナ禍で安心安全に働ける環境を支援

2020年12月、当社とミライアプリ株式会社(本社：東京都品川区、代表取締役社長：渡嘉敷 守)は、IoW (Internet of Workers) 共同事業の一環として「IoW クラウドサービス 感染症対策支援パック」の販売を開始いたしました。

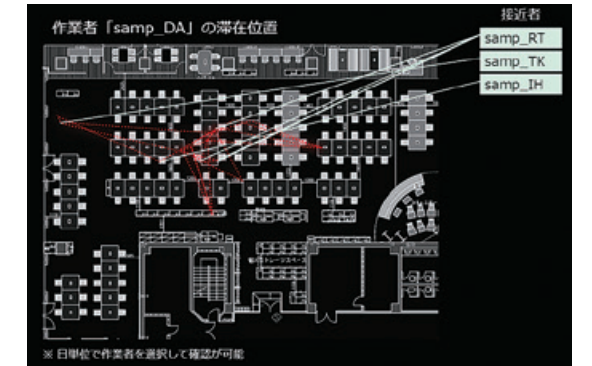
(主な特長)

- ・作業現場における密状態の見える化
- ・個人ごとの日単位の移動履歴
- ・接近者のリストアップ

(フロアでの密状況画面イメージ)



(日単位の移動履歴や接近者のリストアップの画面イメージ)



## 「IoW クラウドサービス 感染症対策支援パック」の概要

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中でも、経済が循環するために、感染リスクを抱えながら多くの方々が見守り働いています。

また企業も雇い主による作業停止リスクを抱えながらも活動を継続しています。働く人々や企業、そして社会全体が安心して働ける環境を少しでもご支援するために本サービスをリリースいたしました。スマートウォッチで位置や歩数、心拍数などのセンシングデータをクラウドに記録することで現場の働く人の状態を把握します。

また、フロア内での密集状況や個人単位の接近状況をデータ化することで、密状態の見える化、感染疑いが発生した場合の対処を支援します。IoWは、デジタル技術を通して働く人や企業に対して、価値ある仕組みを創造して社会の発展に貢献します。